

2003年号



# 伊賀の友垣

三重県立上野高等学校同窓会東京支部会報

14号

事務局

〒180-0003 武藏野市吉祥寺南町

3-18-10 吉岡 進 宅

TEL. 0422(43)2686

E-mail : belmo-yoshioka  
@mx1.ttcn.ne.jp

発行人 大中道紹郎

発行年月日 / 平成15年10月1日



平成14年11月23日(土)、本部同窓会の星周輔会長、長谷優磁副会長、山本操上野高等學校校長、及び本部同窓会事務局の福井亨教諭をお迎えし、約140名が都ホテル東京に集い、第10回三重県立上野高學校同窓会東京支部総会は、定刻の15時、山崎良治実行委員長(高16回)の開会の辞で始まつた。

第1部「東京支部総会」の議事進行のため、議長に井上浩行さん(高12回)が選任された。議事に先立ち大中道紹郎支部長(高1回)から挨拶があり、第2部の演者である西尾文彦さん(高16回)が乗船された南極観測船「しらせ」の建造事業に、当時防衛庁におられた一力正さん(高1回)がその事業に携わっておられた旨

の紹介があり、参加者のほとんどが初めて知ることでもあって、感銘を受けた。続いて、事務局長である吉岡

進副支部長(高3回)から、平成13年度(平成13年8月1日)の事業報告及び会計報告が詳細にされた。この報告の中で、本部同窓会では昨年の総会決定に従い、今年度から新たに本部同窓会の年会費(2000円/人)を集めたこと、このうち一部が3支部(京阪神、名古屋、東京)等の支部助成金として支払われ、今年度分は既に支部会計に振込みがあった旨の報告があつた。

引き続き、宮城暗会計監事として支払われ、今年度分は既に支部会計に振込みがあつた旨の報告があつた。

第2部は、ライトを落とした会場のスクリーンに、宇宙からの南極大陸が映し出されました。

「南極は人類共有の宝物―地球未来への遺産」というテーマで、千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授・西尾文彦さんのソフトな語り口、ご自身でプロジェクターを操作しながらの講演です。

## 第10回東京支部総会

## 盛大に開催

山崎 良治 (高16回)  
秦 信子 (高17回)  
実守 健介 (高18回)

ただいた。

その後、第10期(平成14年)16年の役員幹事が満場の拍手で承認された。

\*

### 今号の内容

- (3)……着任挨拶・上村桂一校長／前東京支部長・松山英敏君を偲んで
- (4)……事業報告／決算報告／役員幹事者名
- (5)……新卒業生歓迎会
- (6)……同期会便り 高7回・11回・14回・16回・17回／萩の会便り
- (7)……若手(?)の部 銀座で怪氣炎／米ソ・スマイル合戦の影に忍者あり
- (8)……伊賀市実現は「伊賀流自治」で
- (9)……ためになる故里史料／上野高校新聞
- (10)……コミニケーションプラザ

## 東京支部会費

(年額1,000円)

大切な支部運営資金でありますので、「伊賀の友垣」同封の振込用紙でお振込みください。

口座番号 郵便局

00140-1-164093

上野高校同窓会東京支部